

『英語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 2年1組教室

(3) 学年・学級 第2学年1組(30名)

使用教科書 ONE WORLD English Course 2 (教育出版)

(4) 単 元 名 Lesson 8 Rakugo in English 教科書 pp.95-103

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

・前単元で、日本の観光地を発表する言語活動を経験している。

・中学2年の文法事項として、これまでに、接続詞、動名詞、to 不定詞、比較表現、受け身表現を学習している。

【「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標】

・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

【単元の目標】「書くこと」

・日本を訪れる外国人に、日本のことをより深く知ってもらうために、日本が世界に誇れる文化について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く。

【生徒の状況】

・言語活動に積極的に取り組む生徒は全体の80%程度いるが、英語で正しく表現することができない生徒が30%程度いる。

(6) 指導計画(全6時間) * ■印は、本時の目標

次(時数)	学習内容	活動形態	評価計画
第一次 (1時間)	■単元の学習の見通しをもつ。 ①単元のゴール活動や評価基準を知り、学習の目標をたてる。 ②既習事項を活用し、日本の文化について事実や自分の考えなどを整理して、まとまりのある内容を話す。	一斉 ペア グループ	
第二次 (4時間)	■自分が知っていることや知らないことについて伝え合う。(pp.96-97) ・自分の知っていることや知らないことについて、ペアで伝え合う。 ・教科書本文を理解する。 ・自分の知っていることや知らないことを書く。	ペア 一斉 個別	・知識・技能
	■自分が興味をもった日本文化について説明する。(pp.98-99) ・自分が興味をもった日本文化について説明する。 ・教科書本文を理解する。 ・自分が興味をもった日本文化についてまとまりのある文章を書く。	ペア 一斉 個別	・知識・技能
	■英語の落語を読んで、その概要を捉え、自分が感じたことや考えたことを伝え合う。(pp.100-101) ・概要を捉える。 ・感じたことや考えたことを伝え合う。 ・感じたことや考えたことを書く。	個別 ペア 個別	・知識・技能
	■英語の落語を読んで、その要点(オチ)を捉え、自分が感じたことや考えたことをその理由とともに伝え合う。(pp.100-101) ・要点(オチ)について考える。 ・自分の考えをその理由とともに伝え合う。 ・感じたことや考えたことをその理由とともに書く。	個別 ペア 個別	・知識・技能
第三次 (4時間)	■日本を訪れる外国人に、日本のことをより深く知ってもらうために、日本が世界に誇れる文化について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。 ①テーマに関する情報やキーワードを、順序を意識しながらメモする。 ②メモを基に書く。 ③書いたものをペアやグループで読み合う。 ④ペアやグループでやり取りした内容を参考に推敲する。	個別 ペア グループ	・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度
	◆単元のゴール活動	個別	

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『英語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 2年1組教室

(3) 学年・学級 第2学年1組(30名)

使用教科書 ONE WORLD English Course 2 (教育出版)

(4) 単 元 名 Lesson 8 Rakugo in English 教科書 pp.95-103

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

・前単元で、日本の観光地を発表する言語活動を経験している。

・中学2年の文法事項として、これまでに、接続詞、動名詞、to 不定詞、比較表現、受け身表現を学習している。

【「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標】

・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

【単元の目標】「書くこと」

・日本を訪れる外国人に、日本のことをより深く知ってもらうために、日本が世界に誇れる文化について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く。

【生徒の状況】

・言語活動に積極的に取り組む生徒は全体の80%程度いるが、英語で正しく表現することができない生徒が30%程度いる。

(6) 指導計画(全6時間) * ■印は、本時の目標

次(時数)	学習内容	活動形態	評価計画
第一次 (1時間)	■単元の学習の見通しをもつ。 ①単元のゴール活動や評価基準を知り、学習の目標をたてる。 ②既習事項を活用し、日本の文化について事実や自分の考えなどを整理して、まとまりのある内容を話す。	一斉 ペア グループ	
第二次 (4時間)	■自分が知っていることや知らないことについて伝え合う。(pp.96-97) ・自分の知っていることや知らないことについて、ペアで伝え合う。 ・教科書本文を理解する。 ・自分の知っていることや知らないことを書く。	ペア 一斉 個別	・知識・技能
	■自分が興味をもった日本文化について説明する。(pp.98-99) ・自分が興味をもった日本文化について説明する。 ・教科書本文を理解する。 ・自分が興味をもった日本文化についてまとまりのある文章を書く。	ペア 一斉 個別	・知識・技能
	■英語の落語を読んで、その概要を捉え、自分が感じたことや考えたことを伝え合う。(pp.100-101) ・概要を捉える。 ・感じたことや考えたことを伝え合う。 ・感じたことや考えたことを書く。	個別 ペア 個別	・知識・技能
	■英語の落語を読んで、その要点(オチ)を捉え、自分が感じたことや考えたことをその理由とともに伝え合う。(pp.100-101) ・要点(オチ)について考える。 ・自分の考えをその理由とともに伝え合う。 ・感じたことや考えたことをその理由とともに書く。	個別 ペア 個別	・知識・技能
第三次 (4時間)	■日本を訪れる外国人に、日本のことをより深く知ってもらうために、日本が世界に誇れる文化について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。 ①テーマに関する情報やキーワードを、順序を意識しながらメモする。 ②メモを基に書く。 ③書いたものをペアやグループで読み合う。 ④ペアやグループでやり取りした内容を参考に推敲する。	個別 ペア グループ	・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度
	◆単元のゴール活動	個別	

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『英語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 2年1組教室

(3) 学年・学級 第2学年1組(30名)

使用教科書 ONE WORLD English Course 2 (教育出版)

(4) 単 元 名 Lesson 8 Rakugo in English 教科書 pp.95-103

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

・前単元で、日本の観光地を発表する言語活動を経験している。

・中学2年の文法事項として、これまでに、接続詞、動名詞、to 不定詞、比較表現、受け身表現を学習している。

【「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標】

・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

【単元の目標】「書くこと」

・日本を訪れる外国人に、日本のことをより深く知ってもらうために、日本が世界に誇れる文化について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く。

【生徒の状況】

・言語活動に積極的に取り組む生徒は全体の80%程度いるが、英語で正しく表現することができない生徒が30%程度いる。

(6) 指導計画(全6時間) * ■印は、本時の目標

次(時数)	学習内容	活動形態	評価計画
第一次 (1時間)	■単元の学習の見通しをもつ。 ①単元のゴール活動や評価基準を知り、学習の目標をたてる。 ②既習事項を活用し、日本の文化について事実や自分の考えなどを整理して、まとまりのある内容を話す。	一斉 ペア グループ	
第二次 (4時間)	■自分が知っていることや知らないことについて伝え合う。(pp.96-97) ・自分の知っていることや知らないことについて、ペアで伝え合う。 ・教科書本文を理解する。 ・自分の知っていることや知らないことを書く。	ペア 一斉 個別	・知識・技能
	■自分が興味をもった日本文化について説明する。(pp.98-99) ・自分が興味をもった日本文化について説明する。 ・教科書本文を理解する。 ・自分が興味をもった日本文化についてまとまりのある文章を書く。	ペア 一斉 個別	・知識・技能
	■英語の落語を読んで、その概要を捉え、自分が感じたことや考えたことを伝え合う。(pp.100-101) ・概要を捉える。 ・感じたことや考えたことを伝え合う。 ・感じたことや考えたことを書く。	個別 ペア 個別	・知識・技能
	■英語の落語を読んで、その要点(オチ)を捉え、自分が感じたことや考えたことをその理由とともに伝え合う。(pp.100-101) ・要点(オチ)について考える。 ・自分の考えをその理由とともに伝え合う。 ・感じたことや考えたことをその理由とともに書く。	個別 ペア 個別	・知識・技能
第三次 (4時間)	■日本を訪れる外国人に、日本のことをより深く知ってもらうために、日本が世界に誇れる文化について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。 ①テーマに関する情報やキーワードを、順序を意識しながらメモする。 ②メモを基に書く。 ③書いたものをペアやグループで読み合う。 ④ペアやグループでやり取りした内容を参考に推敲する。	個別 ペア グループ	・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度
	◆単元のゴール活動	個別	

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

『英語科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 2年1組教室

(3) 学年・学級 第2学年1組(30名)

使用教科書 ONE WORLD English Course 2 (教育出版)

(4) 単 元 名 Lesson 8 Rakugo in English 教科書 pp.95-103

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

・前単元で、日本の観光地を発表する言語活動を経験している。

・中学2年の文法事項として、これまでに、接続詞、動名詞、to 不定詞、比較表現、受け身表現を学習している。

【「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標】

・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

【単元の目標】「書くこと」

・日本を訪れる外国人に、日本のことをより深く知ってもらうために、日本が世界に誇れる文化について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く。

【生徒の状況】

・言語活動に積極的に取り組む生徒は全体の80%程度いるが、英語で正しく表現することができない生徒が30%程度いる。

(6) 指導計画(全6時間) * ■印は、本時の目標

次(時数)	学習内容	活動形態	評価計画
第一次 (1時間)	■単元の学習の見通しをもつ。 ①単元のゴール活動や評価基準を知り、学習の目標をたてる。 ②既習事項を活用し、日本の文化について事実や自分の考えなどを整理して、まとまりのある内容を話す。	一斉 ペア グループ	
第二次 (4時間)	■自分が知っていることや知らないことについて伝え合う。(pp.96-97) ・自分の知っていることや知らないことについて、ペアで伝え合う。 ・教科書本文を理解する。 ・自分の知っていることや知らないことを書く。	ペア 一斉 個別	・知識・技能
	■自分が興味をもった日本文化について説明する。(pp.98-99) ・自分が興味をもった日本文化について説明する。 ・教科書本文を理解する。 ・自分が興味をもった日本文化についてまとまりのある文章を書く。	ペア 一斉 個別	・知識・技能
	■英語の落語を読んで、その概要を捉え、自分が感じたことや考えたことを伝え合う。(pp.100-101) ・概要を捉える。 ・感じたことや考えたことを伝え合う。 ・感じたことや考えたことを書く。	個別 ペア 個別	・知識・技能
	■英語の落語を読んで、その要点(オチ)を捉え、自分が感じたことや考えたことをその理由とともに伝え合う。(pp.100-101) ・要点(オチ)について考える。 ・自分の考えをその理由とともに伝え合う。 ・感じたことや考えたことをその理由とともに書く。	個別 ペア 個別	・知識・技能
第三次 (4時間)	■日本を訪れる外国人に、日本のことをより深く知ってもらうために、日本が世界に誇れる文化について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。 ①テーマに関する情報やキーワードを、順序を意識しながらメモする。 ②メモを基に書く。 ③書いたものをペアやグループで読み合う。 ④ペアやグループでやり取りした内容を参考に推敲する。	個別 ペア グループ	・知識・技能 ・思考・判断・表現 ・主体的に学習に取り組む態度
	◆単元のゴール活動	個別	

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。